

# RSHP3RS RSH23RS RSDXF3RS RSDWG3RS

## ベクターデータ合成



Kernel Computer System

カーネルコンピュータシステム株式会社

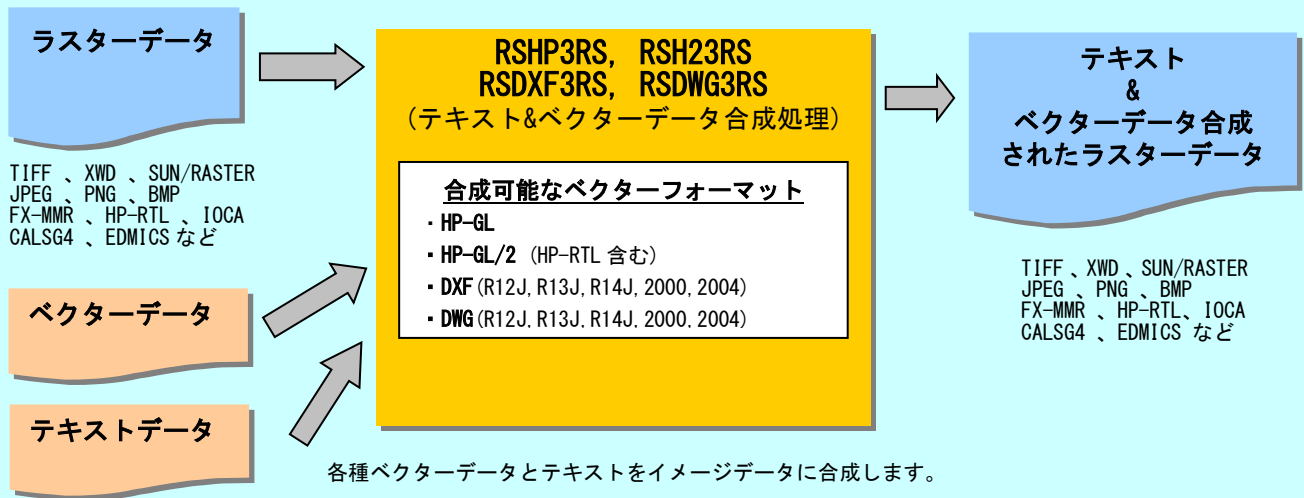
本社：パッケージ販売部

〒221-0056 横浜市神奈川区金港町 6-3 横浜金港町ビル

Tel : 045-442-0500 Fax : 045-442-0501

URL: <https://www.kernelcomputer.co.jp>

### ラスター相互変換 + テキスト、ベクターデータ合成プログラム



### 製品概要

様々なラスターデータのフォーマット変換と画像データの加工を行うことができます。  
ラスターデータにテキスト合成とベクターデータ合成を行うことができます。  
コマンドライン形式なので、バッチ処理による一括変換やシステムへの組み込みに適しています。

### 動作環境

Windows 版 : Windows XP, Windows Server 2003,  
Windows Vista, Windows Server 2008, Windows 7,  
Windows Server 2008 R2, Windows 8, Windows Server 2012,  
Windows 8.1, Windows Server 2012 R2, Windows 10, Windows Server 2016,  
Windows Server 2019, Windows 11, Windows Server 2022,

UNIX 版 : Solaris9 以降 (SPARC), HP-UX11i V2 以降, AIX6.1 以降

LINUX 版 : RHEL4 以降あるいはそれに相当するカーネル 2.6 以降の x86/x64 系 Linux

### 製品一覧

型番	製品名	製品概要	標準価格 (税抜き)
KD-RAS0606	RSHP3RS	ラスター/ラスター変換 + テキスト、ベクターデータ (HP-GL) 合成	45 万円
KD-RAS0607	RSH23RS	ラスター/ラスター変換 + テキスト、ベクターデータ (HP-GL/2) 合成	45 万円
KD-RAS0608	RSDXF3RS	ラスター/ラスター変換 + テキスト、ベクターデータ (DXF) 合成	45 万円
KD-RAS0609	RSDWG3RS	ラスター/ラスター変換 + テキスト、ベクターデータ (DWG) 合成	45 万円

KD ラスターコンバートは、コマンドラインアプリケーションです。通常のコマンドと同じようにコマンドラインから実行したり、バッチファイルやシェルスクリプトに組み込むことができます。

Windows の場合は、「コマンドプロンプト」で DOS ウィンドウを開いて、その中で実行します。

## 1. 属性ファイル

変換を始める前に、変換に必要な情報を属性ファイル上で設定します。

```

ras_in. atr ..... RASTER 入力属性ファイル
ras_out. atr ..... RASTER 出力属性ファイル
text_in. atr ..... テキスト入力属性ファイル
XXX_in. atr ..... ベクター入力属性ファイル
    
```

※ ベクター入力属性ファイルは各ベクターフォーマットによって異なります。

## 2. ベクターデータ合成

ベクターデータ合成処理は以下の手順で行います。

- ① 各入出力属性ファイルを変換したい内容に合わせて設定する。
- ② 各ベクターフォーマットでベクターデータを作成してファイルに保存します。
- ③ ベクターデータを合成する情報を記述した「ベクターデータファイル」を作成します。
- ④ データ変換時に-SM オプションで作成した「ベクターデータファイル」を指定することによりデータ変換と併せてベクターデータ合成をおこないます。

### ◆ベクターデータ合成の実行例

以下のようにコマンドラインに入力します。

```

実行モジュール名  入力ファイル名  -O出力ファイル名  -SMベクターデータファイル名
    
```

例：RSDXF3RS の場合以下のように入力して実行します。この例ではラスタデータ in\_file に data1. dxf と data2. dxf を合成したラスタデータ out\_file を出力します。vector. txt はベクターデータファイルです。

```

RSDXF3RS  in_file  -Oout_file  -SMvector.txt
    
```

ベクターデータファイルの内容 (vector. txt)

```

#####vector data sample#####
MERGE_LOGIC = 1
IN_ATR = dxf_in. atr
SCALE = 0. 5
ROTATION = 90
COLOR_MODE = 0
*GROUP
ORG_X = x1
ORG_Y = y1
COLORWIDTH = (C1=0. 1, C2=0. 2, C3=0. 3, C4=0. 4, C5=0. 4)
FILE_NAME=data1. dxf
*END
*GROUP
ORG_X = x2
ORG_Y = y2
COLORWIDTH = (C1=0. 4, C2=0. 3, C3=0. 2, C4=0. 1, C5=0. 4)
FILE_NAME=data2. dxf
*END
    
```

ベクターデータ合成方法  
DXF 入力属性ファイルの指定  
スケール  
回転角度  
カラー/2 値指定

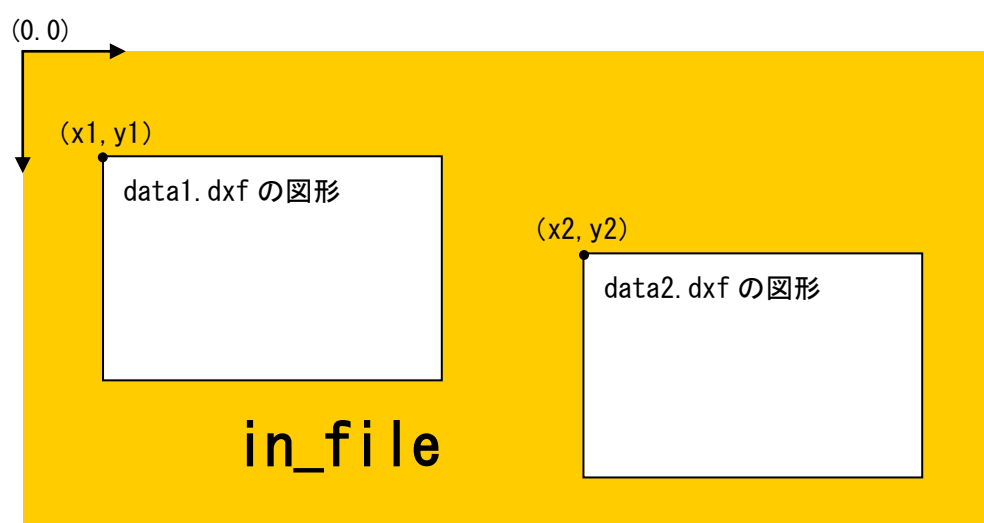
ベクターデータ位置指定 X  
ベクターデータ位置指定 Y  
色番号を線幅に変更  
ベクターファイル名 1

ベクターデータ位置指定 X  
ベクターデータ位置指定 Y  
色番号を線幅に変更  
ベクターファイル名 2

## 実行画面

```
> RSDXF3RS in_file -Oout_file -SMstamp.txt  
Copyright(c) 1992-2001 by Kernel Computer System Co.,Ltd. All rights reserved.  
RASTER(in_file) -> RASTER(out_file) ファイル コンバータ  
  
ただいま、ファイル変換中です。  
  
ラスター/ラスター変換処理 100% 終了  
  
RSDXF3RS 変換終了
```

ベクターデータ合成された出力ファイル(out\_file)



### 3. テキスト合成

テキスト合成処理は以下の手順で行います。

- ① テキスト入力属性ファイル(text\_in. atr) を設定する。
- ② テキスト合成する情報を記述した「テキストデータファイル」を作成する。
- ③ データ変換時に-TX オプションで作成した「テキストデータファイル」を指定することによりデータ変換と併せてテキストデータ合成をおこないます。

#### ◆テキスト合成の実行例

以下のようにコマンドラインに入力します。

```
実行モジュール名  入力ファイル名  -O出力ファイル名  -TXテキストデータファイル名
```

例：RSDXF3RS の場合、以下のように入力して実行します。  
この例ではラスターデータ(in\_file)にカーネルコンピュータシステム株式会社の文字を合成したラスターデータ(out\_file)を出力します。  
sample.txt はテキストデータファイルです。

```
RSDXF3RS  in_file  -Oout_file  -TXsample.txt
```

テキストデータファイルの内容(sample.txt)

```
#####text data sample#####
MOJI_HEIGHT = 6.0          文字高さ(単位 : mm)
MOJI_WIDTH   = 6.0          文字幅(単位 : mm)
MOJI_THETA   = 0.0          文字傾き(単位 : 度)
MERGE_LOGIC  = 1            REPLACE(後書き優先)
*GROUP
ORG_X = x1                  テキスト表示位置指定 X
ORG_Y = y1                  テキスト表示位置指定 Y
TEXT=カーネルコンピュータシステム株式会社  表示テキスト
*END
*GROUP
ORG_X = x2                  テキスト表示位置指定 X
ORG_Y = y2                  テキスト表示位置指定 Y
TEXT=カーネルコンピュータシステム株式会社  表示テキスト
*END
```

## 実行画面

```
> RSDXF3RS in_file -Oout_file -Txsample.txt
Copyright(c) 1992-2001 by Kernel Computer System Co.,Ltd. All rights reserved.
RASTER(in_file) -> RASTER(out_file) ファイル コンバータ

ただいま、ファイル変換中です。

ラスター/ラスター変換処理 100% 終了

RSDXF3RS 変換終了
```

テキスト合成された出力ファイル(out\_file)

(0.0)

● カーネルコンピュータシステム株式会社  
(x1, y1)

● カーネルコンピュータシステム株式会社  
(x2, y2)

**in\_file**

## 4. 合成情報ファイル

### ◆ ベクターデータ、テキスト合成情報の記述ファイルについて

ラスタ上合成するベクターデータ、テキストの情報を記述するテキストファイルです。各パラメータを設定し、任意の名前で保存してください。変換時に保存したテキストファイルを指定することによりベクターデータ、テキスト合成をおこないます。

- グループ定義の開始&終了を設定します。\*GROUP から\*END の範囲で、合成するベクターデータ、テキスト情報、表示位置などを設定します。(ベクターデータ、テキスト合成共通)

\*GROUP..... グループ定義の開始  
\*END ..... グループ定義の終了

- ベクターデータ、テキストの表示位置の設定をします。初期値は 0.0 で左上を原点 (0, 0) とします。右方向が X 値のプラス、下方向が Y 値のプラスとします。(ベクターデータ、テキスト合成共通)

ORG\_X = xxx.xx..... 表示位置 X (単位: mm)  
ORG\_Y = xxx.xx..... 表示位置 Y (単位: mm)

- 合成するベクターファイル名称を設定します。(ベクターデータ合成のみ対応)  
例: FILE\_NAME = testdat.plt      ベクターファイルに『testdat.plt』をセット。  
絶対パスで指定してください。

FILE\_NAME = XXXXXXXXXXX      ベクターファイル名称(パス名称も一緒に指定)

- 合成するテキストを設定します。(テキスト合成のみ対応)  
半角 511 文字、全角 225 文字以内で設定。先頭の空白文字、TAB の指定、改行の指定は出来ません。

TEXT = XXXXXXXXXXXXXXXX ..... XXXXXXXXXXX : 表示文字列

- ベクターデータの合成方法を設定します。透過モード(0)または上書きモード(1)から選択します。(ベクターデータ、テキスト合成共通)

MERGE\_LOGIC = X

- ベクターデータのフォーマット(DXF, DWG, HP-GL, HP-GL/2)に対応した、属性ファイル名称を指定します。(ベクターデータ合成のみ)

IN\_ATR = XXXXXXXXXXX      ベクターデータ属性ファイル名称

- 合成するベクターデータ、テキストの線幅を変更する場合に利用します。  
ベクターデータ自身に線幅がある場合はコメントとしてください。(ベクターデータ、テキスト合成共通)

COLORWIDTH = (Ci=w, Cj=w, ...)

- 合成するベクターデータのスケールを設定します。(ベクターデータ合成のみ対応)

SCALE = XXX.XXX..... スケール値

- 合成するベクターデータデータの回転角度を設定します。設定値は、0, 90, 180, 270 度となります。  
(ベクターデータ合成のみ対応)

ROTATION = XXX..... 回転角度。(単位: 度)

- ベクターデータを貼り付けるときのベクターデータのカラー/モノクロを選択します。  
(ベクターデータ合成のみ対応)

COLOR\_MODE = 0..... カラーデータを無効(2値)とします。

COLOR\_MODE = 1..... カラーデータを有効とします。

- ベクターデータの色番号に対するカラー設定。(ベクターデータ合成のみ対応)

COLORRGB = ( C1=r1, g1, b1, C2=r2, g2, b2, C3=r3, g3, b3, . . . Cn=yn, gn, bn )

Cn : 色番号 (0 ~ 255)

但し、カラーラスタ出力の場合はインデックスカラー番号の0~254の範囲です。

(色番号255は白に固定)

rn : 赤値 (0 ~ 1000)

gn : 緑値 (0 ~ 1000) (注)内部では(0 ~ 1000)から(0 ~ 255)

bn : 青値 (0 ~ 1000) に変換されて処理します。

制限条件: 色番号の値は0~255とします。(但し、カラーラスタ出力時は0~254とします)  
RGBの値は0~1000とします。

入力例: 例. COLORRGB = ( C1=1000, 0, 0, C2=0, 0, 0 )

色番号1を赤1000、緑0、青0(赤色)、色番号2を赤緑青共に0(黒色)に設定します。

- ベクターデータ、テキストを合成するページを指定です。  
初期値: PAGE\_NUMBER = 0 ですべてのページに合成します。(ベクターデータ、テキスト合成共通)

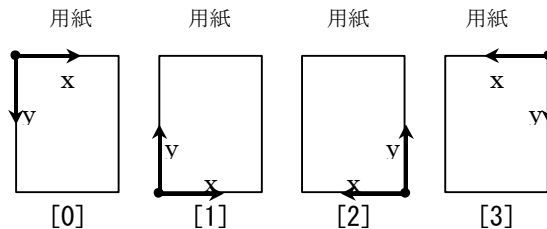
PAGE\_NUMBER = xxxx ページ番号を指定

- ベクターデータ、テキストの表示位置の基準となる用紙の原点と、X軸、Y軸の向きを設定します。

STAMP\_ORG = X(ベクターデータ合成)

MOJI\_ORG = X(テキスト合成)

X: 用紙の原点位置と座標軸の向き(0~3)

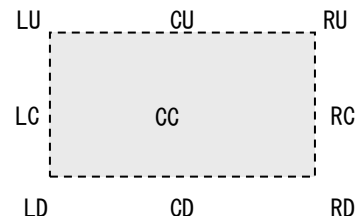


- ベクターデータ、テキストの基準位置を設定します。

STAMP\_REF = XX(ベクターデータ合成)

MOJI\_REF = XX(テキスト合成)

LU, CU, RU, LC, CC, RC, LD, CD, RD から選択します。



変換例

例：RSDXF3RS を使用して TIFF ファイル (kdtest\_2.tif) に DXF ファイル (sp1.dxf) と”カーネルコンピュータシステム(株)”の文字を合成したラスターデータ (kdtest\_2.rs) を出力します。  
 テキスト合成の設定は sample.txt、ベクターデータ合成の設定は vector.txt でおこなったものとします。  
 以下のようにコマンドラインに入力します。

```
RSDXF3RS kdtest_2.tif -Okdtest_2.rs -TXsample.txt -SMvector.txt
```

vector.txt

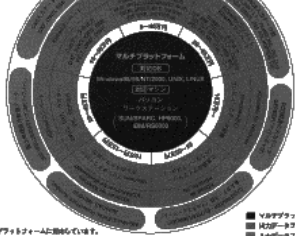
```
##### vector data sample(DXF) #####
#-----
MERGE_LOGIC = 0
IN_ATR = dxf_in.atr
SCALE = 0.5
ROTATION = 0
COLOR_MODE = 0
#-----
*GROUP
ORG_X = 5.0
ORG_Y = 50.0
FILE_NAME=sp1.dxf
*END
#####
```

sample.txt

```
##### text data sample #####
#-----
MOJI_HEIGHT = 10.0
MOJI_WIDTH = 10.0
MOJI_THETA = 0.0
#-----
*GROUP
MOJI_FONT_NAME=NOT_USE
MERGE_LOGIC = 0
ORG_X = 18.0
ORG_Y = 12.0
TEXT=カーネルコンピュータシステム(株)
*END
#####
```

KDコンバートシリーズ  
 CAD/PRINTER・PLOTTER/IMAGE/WEBデータの相互変換とビューワ  
 マルチプラットフォーム・マルチフォーマット対応のデータコンバータ

ユーザー200社を超えた図形データ専用コンバータを、貴社システムのツールとしてご利用下さい。

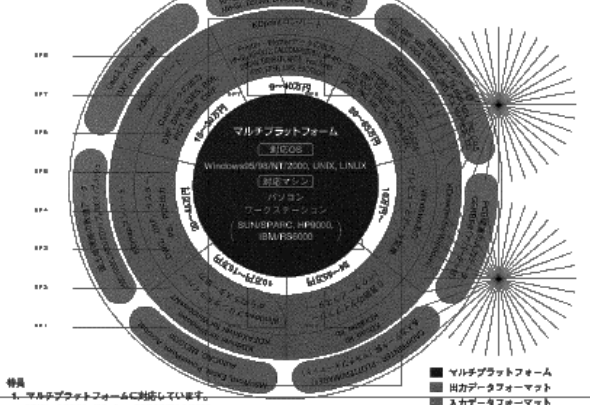


- 1. マルチプラットフォームに対応しています。
  - UNIX, LINUX, Windows95/98/NT/2000
- 2. マルチフォーマットに対応しています。
  - plotter系 (HP-GL, HP-GL2, HP-RTL, CALCOMP/82/90T, GP-GL, MH-GL, DRASTEN, DODAN, VOGL, VNF, OR (ラスター付))
  - image系 (bitmap (ビットマップ)) (BMP, GIF, PNG, JPEG, TIFF, EPS, EPS8, EPS3, EPS4, EPS5, EPS6, EPS7, EPS8, EPS9, EPS10, EPS11, EPS12, EPS13, EPS14, EPS15, EPS16, EPS17, EPS18, EPS19, EPS20, EPS21, EPS22, EPS23, EPS24, EPS25, EPS26, EPS27, EPS28, EPS29, EPS30, EPS31, EPS32, EPS33, EPS34, EPS35, EPS36, EPS37, EPS38, EPS39, EPS40, EPS41, EPS42, EPS43, EPS44, EPS45, EPS46, EPS47, EPS48, EPS49, EPS50, EPS51, EPS52, EPS53, EPS54, EPS55, EPS56, EPS57, EPS58, EPS59, EPS60, EPS61, EPS62, EPS63, EPS64, EPS65, EPS66, EPS67, EPS68, EPS69, EPS70, EPS71, EPS72, EPS73, EPS74, EPS75, EPS76, EPS77, EPS78, EPS79, EPS80, EPS81, EPS82, EPS83, EPS84, EPS85, EPS86, EPS87, EPS88, EPS89, EPS90, EPS91, EPS92, EPS93, EPS94, EPS95, EPS96, EPS97, EPS98, EPS99, EPS100)
  - DTP系 (Post Script出力 (モノクロ/カラー)), PDF (モノクロ/カラー), LIP出力 (モノクロ/カラー), ARTM (モノクロ) 出力, EPS3 (カラー) 出力
  - CAD系 (DWG, DXF, DWF, DMF, IESB)
  - Macintosh系 (PCT, EPS出力 (イラストレータで読み込み可能), TIFF等のイメージ出力)
  - Raster系 (TIFF (マルチページ付), BMP, CALS (G4), XWD, SUNPスター, FAX (MF, MF, MFR), RGA (マルチページ), EDMICS, PCL-MMR, MIBL, PCL, JPEG, YOSPLR (NSM), NSXPRESS, PNG, EXR)
  - Web系 (HTML, XML)
  - バーコード系 (1次元, 2次元 (QRコード, マイクロQRコード))
  - Windowsドライバ (E-Texture (ウェブ用), CADデータをプリンタドライバ経由でラスター出力 (TIFF, JPEG等)), FAX出力
  - 国土地理院の地理データ (JGSD, 10000, 50000, FDマップ, JMCマップ, マッシュアップ)
  - コマンドラインから入力ファイル名/出力ファイル名を指定する事で実行可能 (ドキュメントの一部変換も対応)
  - ユーザ独自の履歴パラメータファイルにより、フォーマットバージョン、色・線幅・線種、フォント名称・文字種・文字高等が変更設定できます。
  - 高利用効率 (64ビット) のベクターラスター、ラスターラスター (複数のラスターとテキスト、スタンプの合成も可能) が楽しめます。
  - 実行時各種パラメータ (自動スケール、自動オフセット等) が自由に設定できます。
  - イメージ編集で高画質 (解凍・圧縮なし) や、CADデータ変換で寸法情報の引き継ぎが可能です。
  - 2つの異なる (ベクター用と、ラスター用と、文字用) の比較を行い、違いを色分けして出力できます。 (図面校正チェックに有用)
  - 角線体 (国土地理院) を読み込み、DMG, DXF, ラスター、PDFなどにも出力可能です。
  - ラスターデータとベクターデータを合成し、XMLやHTMLデータに変換し、Webブラウザで表示できます。
  - 高画質データ変換が可能です。

カーネルコンピュータシステム(株)

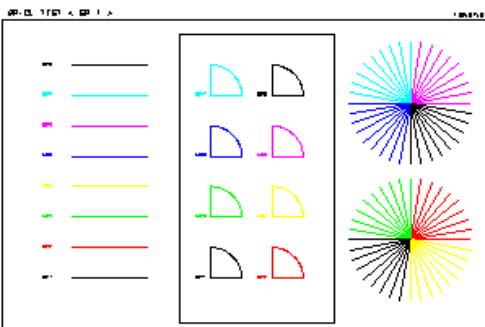
KDコンバートシリーズ  
 CAD/PRINTER・PLOTTER/IMAGE/WEBデータの相互変換とビューワ  
 マルチプラットフォーム・マルチフォーマット対応のデータコンバータ

ユーザー200社を超えた図形データ専用コンバータを、貴社システムのツールとしてご利用下さい。



- 1. マルチプラットフォームに対応しています。
  - UNIX, LINUX, Windows95/98/NT/2000
- 2. マルチフォーマットに対応しています。
  - plotter系 (HP-GL, HP-GL2, HP-RTL, CALCOMP/82/90T, GP-GL, MH-GL, DRASTEN, DODAN, VOGL, VNF, OR (ラスター付))
  - PC系 (GERBER (アパーチャ付)) (RS274D, RS274X (基板カラー))
  - DTP系 (Post Script出力 (モノクロ/カラー)), PDF (モノクロ/カラー), LIP出力 (モノクロ/カラー), ARTM (モノクロ) 出力, EPS3 (カラー) 出力
  - CAD系 (DWG, DXF, DWF, DMF, IESB)
  - Macintosh系 (PCT, EPS出力 (イラストレータで読み込み可能), TIFF等のイメージ出力)
  - Raster系 (TIFF (マルチページ付), BMP, CALS (G4), XWD, SUNPスター, FAX (MF, MF, MFR), RGA (マルチページ), EDMICS, PCL-MMR, MIBL, PCL, JPEG, YOSPLR (NSM), NSXPRESS, PNG, EXR)
  - Web系 (HTML, XML)
  - バーコード系 (1次元, 2次元 (QRコード, マイクロQRコード))
  - Windowsドライバ (E-Texture (ウェブ用), CADデータをプリンタドライバ経由でラスター出力 (TIFF, JPEG等)), FAX出力
  - 国土地理院の地理データ (JGSD, 10000, 50000, FDマップ, JMCマップ, マッシュアップ)
  - コマンドラインから入力ファイル名/出力ファイル名を指定する事で実行可能 (ドキュメントの一部変換も対応)
  - ユーザ独自の履歴パラメータファイルにより、フォーマットバージョン、色・線幅・線種、フォント名称・文字種・文字高等が変更設定できます。
  - 高利用効率 (64ビット) のベクターラスター、ラスターラスター (複数のラスターとテキスト、スタンプの合成も可能) が楽しめます。
  - 実行時各種パラメータ (自動スケール、自動オフセット等) が自由に設定できます。
  - イメージ編集で高画質 (解凍・圧縮なし) や、CADデータ変換で寸法情報の引き継ぎが可能です。
  - 2つの異なる (ベクター用と、ラスター用と、文字用) の比較を行い、違いを色分けして出力できます。 (図面校正チェックに有用)
  - 角線体 (国土地理院) を読み込み、DMG, DXF, ラスター、PDFなどにも出力可能です。
  - ラスターデータとベクターデータを合成し、XMLやHTMLデータに変換し、Webブラウザで表示できます。
  - 高画質データ変換が可能です。

入力 TIFF ファイル kdtest\_2.tif



合成用 DXF ファイル sp1.dxf

合成したラスターファイル kdtest\_2.rs